

車の登録の変更手続・移転手続をお忘れなく

現在、国内には7,800万台を超える車があります（2輪車を含む）。このうち多くの車は検査や登録制度により、だれが所有していて、だれが使用しているのかなどの情報を登録する義務があります。

ところが、引越して住所が変わったときや車を売買したときなどに、登録されている内容の変更手続を忘れてしまうと、リコールの案内（車の欠陥に関する重要な通知）が届かないなど、自動車ユーザーにとって支障が生じます。また、変更手続は15日以内にするよう「道路運送車両法」で義務づけられており、これを怠ると罰金が科せられることもありますので注意が必要です。引越して住所が変わったときや車の売買などで名義が変わったときは、忘れずに車の登録の変更手続を行いましょう。

人の出生届と似ている

車の登録制度

人が生まれたとき、住んでいる自治体に氏名や本籍、住所などを出生届として提出します。車の登録制度も、簡単に言えば出生届に似ています。車を買って初めて公に認められるためには、国（運輸支局及び自動車検査登録事務所）に対して車の登録を行う必要があります。

車の登録には、民事登録である「所有権の公証」と行政登録である「自動車の保有実態の把握」という二つの目的があります。まず、所有権の公証とは、「この車は私のものです」という車の所有者を公にし、明らかにすることです。次に、「自動車の保有実態の把握」とは、自動車の安全の確保、犯罪捜査、交通取締り、納税などの車に関する様々な行政上の権利義務を明確にすることや、社会秩序を維持するために必要な情報を行政が把握するためのものです。車が登録されると自動車検査証（いわゆる車検証）が発行され、車1台1台にナンバープレートが交付されて取り付けられます。これは名札を付けるのと同じで、この世に1台しかない車が誕生したことになります。

引越したときは、変更登録の手続きを忘れずに

車の登録制度

車の登録制度は、盗難防止や事故が起きたときの車の特定、車の検査（車検）や整備による車の安全確保などを支えるなど、車社会には不可欠なシステムです。しかし、最初に登録さえすればそれで終わりではありません。車検は数年おきに必ず受けなければなりません。引越したときや住所を変更したときには人はそのつど住民票を移動しますが、車の登録も同様に変更手続が必要です。

引越して住所が変わったときは、車の所有者（または使用者）の住所や車庫も変わるので車の「変更登録」が義務づけられています。忘れてしまつと、リコールの案内など重要な案内が手元に届かないなど、ユーザーにとって支障が生じかねません。住民票、自動車保管場所証明書、自動車検査証、印鑑、自動車税申告書、登録申請書などを持って、車庫の位置を管轄する運輸支局で変更手続をしてください。登録手数料は350円です。他の地域へ転入する場合はナンバープレートが変わりますので、ナンバープレート交付料も必要です。

名義が変わったときは「移転登録」の手続きを

車の登録制度

車を売買したり、親から子どもへ譲り渡したりして名義（所有者）が変わったときは「移転登録」の手続をしなければいけません。忘れてしまうと、税金や保険の納付書類などが前の所有者へ届けられ、トラブルの原因になります。引越しの際の「変更登録」と同じように申請書類を持って、車庫の位置を管轄する運輸支局または自動車検査登録事務所まで登録手続を済ませてください。登録手数料は500円です。他の地域へ転入する場合は、ナンバープレートが変わりますので、ナンバープレート交付料が必要です。

車社会を支えている

登録制度

登録内容の変更を忘れると、盗難や事故などのときに所有者や使用者の確認作業が遅れたり、納税のトラブルに巻き込まれたりすることがあります。

また、こうした変更手続は15日以内にするよう「道路運送車両法」で義務づけられています。これを怠ると、重要なお知らせが届かなかつたり、前の所有者あての通知が届いたり問題が生じるおそれがあります。また、罰金が科せられることもありますので注意が必要です。車社会を支えている登録制度。自分自身のために、また安心して車に乗るためにも、変更登録手続・移転登録手続は必ず行うようにしましょう。

豆知識

ナンバープレートあれこれ

登録された車に取り付けられているナンバープレートは、いろいろな種類があります。まず、バスやタクシー、事業用トラックのナンバープレートは緑色ナンバー（白字）、マイカーなど自家用の車は白ナンバー（緑字）になっています。

また、ナンバープレートには、地域名、車種、平仮名、4けた以下の数字が表示されています。このうち、4けた以下の数字は希望によって自由に選ぶことができます。また、地域名については、平成18年10月から「那須」「会津」「伊豆」といった、いわゆる「ご当地ナンバー」が新たに登場しました。ナンバープレートは、その車が公に認められたものであることを表した大切なものなのです。